大会名称: **高松宮記念杯　第49回全日本実業団バスケットボール選手権大会**

開催場所: **スカイホール豊田 メインアリーナ　Cコート**

試合区分: **No. 78　女子　　準決勝**

期　　日: **2017(H29)年2月13日 (月)**　　主審: **小野寺　浩**

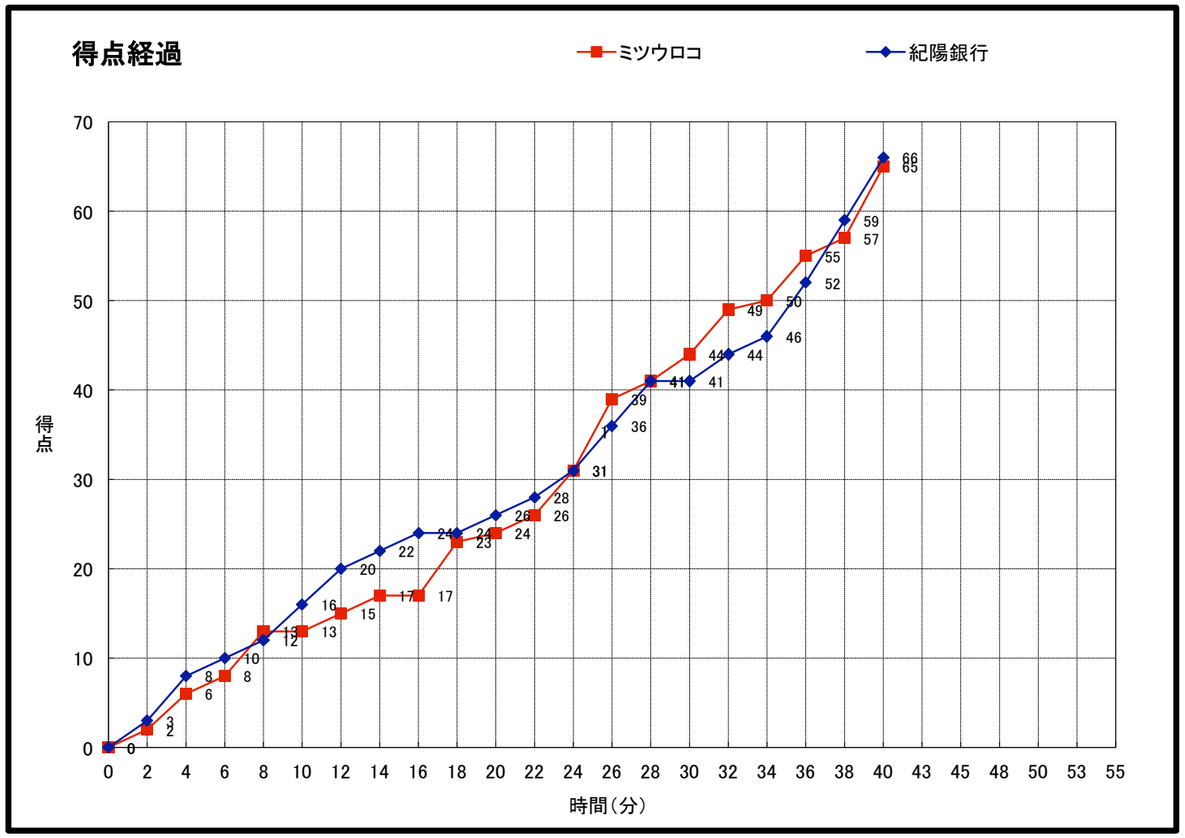
開始時間: **15:00**　　副審: **小川　裕之 :嶋崎　貴**

紀陽銀行 (近畿1)	○ 66	16 — 13 10 — 11 15 — 20 25 — 21 — — —	● 65	ミツウロコ (関東1)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0		神山　幸乃	2	0	1	0	3
1	*	木工　理恵	4	0	1	2	1
2		米田　真依	2	0	1	0	0
3	*	野田　桃香	10	1	3	1	1
4	*	唐津　亜耶	6	0	3	0	5
7		青山　詠美	−	−	−	−	−
9	*	西田　花奈	25	1	10	2	5
10		浦本　美希	0	0	0	0	0
11		後藤　美紀	3	1	0	0	4
12	*	広倉　綾乃	3	1	0	0	3
16		登倉　美幸	11	3	1	0	3
コーチ		伊藤　篤司 ／ TEAM					
		合計	66	7	20	5	25

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
2		黒澤　由生	5	0	1	3	0
3		丹羽　美妃	0	0	0	0	2
5	*	高田　渚	11	0	2	7	2
9		岸田　実佳	−	−	−	−	−
11		高嶋　夏美	−	−	−	−	−
12	*	富田　咲慧	29	0	10	9	2
14		三上　京子	−	−	−	−	−
16	*	坂本　杏紗	14	2	3	2	3
17	*	奥里　綾子	3	0	1	1	2
28	*	笹平　美樹	3	1	0	0	0
コーチ		高橋　孝太 ／ TEAM					
		合計	65	3	17	22	11

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール



ゲームレポート

1P:お互いマンツーマンディフェンスでの立ち上がり。ミツウロコ＃16の2ポイントで始まる。その後、両チームともにシュートが決まらず得点が入らない。紀陽銀行は＃9の3ポイントなどでリードし始める。しかし、ミツウロコも＃16の3ポイントなどで対応し11－10と逆転する。紀陽銀行はタイムアウト後、＃11のフリースロー、＃9の2Pで13－16とし、紀陽銀行がリードして1P終了。

2P:紀陽銀行が＃9の2ポイントなどで17－24とリードを広げる。しかし、ターンオーバーやシュートミスが続き、　21－24と詰め寄られタイムアウトを取る。その後も流れは変わらず、ミツウロコ＃17のフリースローで同点となる。2P終了間際、紀陽銀行＃4が2ポイントを決め24－26と紀陽銀行リードで2P終了

3P:後半に入り両チームともシュートが決まり始める。気油銀行がリードすればミツウロコが追いつき、ミツウロコがリードすれば紀陽銀行が追いつくという一進一退の展開となる。41－41と同点になったところ紀陽銀行のファールが続き、ミツウロコは、＃12、＃5がフリースローを決め、44－41とミツウロコがリードして3P終了。

4P:ミツウロコは＃12の2ポイントなどで49－41と差を広げる紀陽銀行はタイムアウトを取る。その後、徐々に点差を詰めていき＃3の3ポイントで55－55の同点になる。ミツウロコはタイムアウトを取り、立て直しを図る。お互い得点を入れあい残り50秒で63－63の同点で進む。残り22秒でミツウロコ＃12の2ポイントでリードするが紀陽銀行＃12が3ポイントをきめ65－66と逆転し、残り14秒を守り切り紀陽銀行が勝利した。